

## Eric Whitacre (1970-)

### „Alleluia”

#### E. ウィテカー「アレルヤ(主をほめたたえよ)」

ウィテカーはアメリカの作曲家、指揮者。彼はそれまでの自分のキャリアにおいて、宗教的な背景をもつ作品はあえて書かなかったが、2010年、彼がケンブリッジの教会のミサで合唱隊と一緒に歌った時、礼拝式の意義や礼拝におけるミサ曲の重要な役割について考えるようになった。そして歌詞の中にあるシンプルで美しい言葉、「Alleluia」「神をほめ讃えよ」に魅了されたと語っている。デヴィッド・スキナー指揮、ケンブリッジ・シドニー・サセックス・チャペル合唱団のために作曲され、2011年6月25日に初演された。

歌詞は「Alleluia」のみで、様々に変容するハーモニーの形態で構成されている。少ない声部の数が次第に増加する事により、ハーモニーの密度や濃度を変えている。簡単な3和音の響きに狭い音程(2度音程)を加えたり、4度音程をかぶせたりして独特なサウンドを形成している。また伝統的な和声進行の法則をあえて使用しないことで、その効果を出している。彼の独特なハーモニーの流れの中には、人間の無意識の世界の混沌や混濁から、清澄で神聖な世界へ、また闇から光、表層から内部の深みへ向かう心の動きが感じられる。ウィテカーは、「Alleluia」という言葉が持っている様々な情感やイメージを、神秘的で美しいハーモニーで包み、その抒情性のあるメロディーは、私達を安らぎに満ちた世界へと導く。